

第 1 回 北海道代協企画環境委員会 <議事録>		作 成 年 月 日	
		2018年11月15日	
日 時	2018年11月14日(水) 14:30~17:00	作 成 者	承 認
場 所	代協事務局 札幌市中央区南7条西2丁目リバーサイドMS	佐藤 文則	濱中 公也
出席者 (敬略略)	濱中委員長(函館)・広川副委員長(札幌)・佐藤文則(室蘭) 坂本信一(旭川代理)・佐藤潤(釧路)・道田好昭(帯広代理)		
議 題	1. 日本代協企画環境委員会報告 2. 保険代理業の損害賠償責任セミナーについて 3. 各支部における募集環境モニタリングについて 4. ディーラー向けの公正募集の依頼文発送報告について 5. その他		
審 議	<p>出席者が揃ったため、定刻より早く14:25に委員会開始 委員長挨拶に続き、今回代理で出席された旭川支部・坂本、帯広支部・道田 両名の紹介、配布資料の確認</p> <p>1. 第3回日本代協企画環境委員会報告 報告事項・情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口副会長より地震関連報告があった <p>個別事案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車共済加入者に対してマイカーローン金利優遇などの不公正募集が散見されるが、金融庁監督ではないとの理由から逃げられている現状。 保険会社と同等の規制が適用されるべきという在日米国商工会議所委員会の提言を共有した ・Ponta カード所有者に対し、自動車保険見積りで食料品や金券を提供している事例の報告 ・ゴールド免許割引について、各社の約款の違いから保険の切替えを行っている事例あり。委員長より「約款の違いをしっかりと認識し、各支部会員へ伝達するように」との呼びかけ ・不公正募集対応の標準型策定 ・銀行窓販について、最近目立った報告はないが引き続き動向を注視する ・リタイアメントプランについて。一方的な圧力(保険会社からの肩たたき)ではなく、辞める人と消費者が不利にならないためのモデルを作成中。 委員長より自社での取組みについて内容説明あり。 ・現状と課題サマライズ版の作成について。「代協活動の現状と課題」 (2018年度版)を必ず一読するようと呼びかけ。サマライズ版は注目を拾い上げているので、目次のように使える。気になった点の詳細を本編で確認すると良い。 <p>15:15~15:20 休憩</p>		

情報共有

- ・ディーラーのスマールリペアについて

仕組みとしては、いわゆる履行保証のようなもの。経費も1,000円程度となっており、スマールリペア自体に違法性は無いとの公式見解。

しかし、キャッシュバックをしている例も報告されており、厳しく見て行く必要あり

2. 保険代理業の損害賠償責任セミナー開催について

- ・今年度は9月14日に小樽支部で、10月12日に札幌支部で開催された。前年度は旭川支部、苫小牧・千歳・室蘭支部が共同開催。次年度は未定であるものの、各支部で開催回数の片寄りが出ないように配慮すること。

3. 各支部での募集環境モニタリングについて

- ・帯広支部、釧路支部では、ガリバーが新車購入時もしくは車両入替時の強引な保険切替えをしている例が報告されているとのこと。納車日に合わせた保険切替えで、担当者の査定アップになるらしいと
- ・切替えに伴う既存契約の解約に際し、代理店に抵抗されないように保険会社のカスタマーセンターに直接連絡させるよう指示している例もあるとのこと
- ・上記事例からも判るように、ディーラー・販売店担当者は保険切替えのロープレに取組むなど訓練されてきており、油断できない存在になっている。顧客のグリップ力を高め流出を防ぎたい

4. ディーラー向けの公正募集の依頼文発送報告について

- ・今年度は3支部で実施。札幌支部・8月1日発送、函館支部・7月18日発送（20件）、室蘭支部・8月10日発送（27件）
現在のところ、発送した先からの反応は無い。地道な活動ではありますが、続けていきたいと思いますと委員長からの御言葉があった。

5. その他

- ・各保険会社にて代理店統合・合併の動きが顕著に見られる。特に東京海上日動。収保1億～3億くらいの代理店を統合しようという動き。各支部で情報があれば是非委員会に挙げてほしい。

以上で、第2回企画環境委員会の議題は終了。

最後に委員長から一言。

今年度の企画環境委員会は本日の第2回目を以って終了となるが、各支部でしっかり情報を伝えて頂きたい。また、不公正募集に関しては、地道に情報を積み重ねて行くしかない。小さな情報でも構わないのでムダだと諦めずに報告して欲しい。よろしくお願ひします。以上の挨拶を以って16:30閉会。